



# あたごふれあい人権文化センターだより 2024年7月1日発行

発行：あたごふれあい人権文化センター  
住所：〒682-0846  
鳥取県倉吉市鴨河内1818-2  
電話：0858-28-5440 (FAX 兼)  
E-Mail：atago@ncn-k.net

あたごふれあい人権文化センターだより「心ゆたかに」  
に関するご意見・ご要望をお寄せください。

## 「部落解放月間」(7/10～8/9) 「知ってるつもり」も「知らんぷり」もしたくない。

### 部落差別問題について正しい理解を

#### <部落差別の現状>

平成28年12月に施行された部落差別の解消の推進に関する法律では、「現在もなお部落差別が存在」するとともに、「情報化の進展に伴って部落差別に関する状況が変化」していることを踏まえ、「部落差別は許されないものである」との認識が示されました。

今もなお、結婚の際に同和地区(被差別部落)(以下、「同和地区」という。)出身であることなどを理由として反対されたり、就職においても不当な取扱いを受ける事象が起きています。

また、偏見や差別意識に基づく身元調査、特定の土地が同和地区かどうか尋ねるといった事象のほか、近年ではインターネット上での差別的な書き込みが問題となっています。



### 同和地区出身者の暴露や同和地区名の公表は、部落差別を助長・誘発する行為であり許されません

同和地区出身であることを理由に差別することはもちろん、このような社会の状況があるなかで、本人の同意を得ずにその者が同和地区出身であることを暴露することも、重大なプライバシーの侵害であり許されません。

また、単に特定の地域が同和地区である、又は同和地区であったとの情報を公表することも、部落差別が現存するこの社会においては、部落差別を助長、誘発する行為となり許されません。

なお、法務省人権擁護局は、インターネット上の同和地区に関する情報について、次のように示しています。

- ① 特定の者を同和地区の居住者、出身者等として識別すること自体が、プライバシー、名誉、不当に差別されない法的利益等を侵害するものと評価することができること。
- ② 特定の者に対する識別ではなくとも、特定の地域が同和地区である、又はあったと指摘する行為も、このような人権侵害のおそれが高い、すなわち違法性のあるものであるということができること。

さらに同和地区人権擁護局は、「〇〇地区は同和地区であった(ある)」などと指摘する同和地区に関する識別情報の摘示は、目的がどうであっても、それ自体が人権侵害のおそれが高い、すなわち違法性のあるものであり、原則として削除要請等の措置の対象とすべきものであるとの方針を示しています。

### 部落差別に加担せず、互いに尊重し合える社会のために

#### <誤った知識を正しいと思い込み、拡散しないこと>

残念ながら、特にインターネット上には、同和地区出身者に対する差別的な書き込みや、部落差別は存在しないなどの誤った情報が掲載され続けています。(裏面につづく)

差別落書きは重大な人権侵害です！

※差別発言に遭遇した場合や差別落書きを発見した場合、また悩みごと、生活に困っていることなど、人権政策課または最寄りの人権文化センターへご相談ください。

人権政策課

TEL 0858-22-8130

あたごふれあい人権文化センター

TEL 0858-28-5440



部落差別問題について正しい知識を持たずにこれらの情報を閲覧すると「検索サイトの上位に表示されている」ことを理由に正しい知識と思い込み、同和地区出身者に対する偏見をうのみにしたり、誤った情報を安易に広げていくことで、結果的に部落差別に加担してしまう恐れがあります。

インターネット上に一度掲載された情報はすぐに広まり、のちにその書き込みが削除されたとしても既に複数のサイトに転載されていることが多く、被害の回復が相当困難になることを一人一人が自覚する必要があります。

#### <正しい知識の習得に努めましょう>

国や県、市町村、公的団体などが開催する人権問題についての講演会や研修会に積極的に参加し、正しい知識の習得に努めましょう。

国や県、市町村、公的団体などが発行する人権問題についての啓発冊子やホームページを参考に、部落差別問題をはじめとする人権問題について理解を深めましょう。

#### <一人一人が主体的に考え、人権感覚を研ぎ澄ましましょう>

また、部落差別問題を知識として知っていても、因習に縛られたり、自分にとって身近な人が偏見や忌避意識を持っている場合はなんとなくそれを受け入れてしまい、正しい判断ができなくなることがあります。

誤った情報や根拠のない思い込み、他人の偏見を安易に受け入れず、差別解消に向けて主体的に取り組み、人権感覚を研ぎ澄まし続けましょう。

鳥取県ホームページ参照

### 第2回人権のために学ぶ同和教育講座 (戦争と人権)

日時：7月6日(土) 13:30～15:00

場所：倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

内容：「クラウディアからの手紙」

～戦争の悲惨さと人の思いやりの大切さ～

講師：河野 信一郎さん

(日本海テレビジョン株式会社

報道制作部シニアアドバイザー)

問い合わせ先：倉吉市人権政策課

(TEL 0858-22-8130 Fax 0858-22-8230

E-Mail jinkenseisaku@city.kurayoshi.lg.jp)

※事前申込み不要 手話通訳付

世界大戦後、スパイ容疑の罪で数十年間ソビエト連邦の監視下に置かれたある日本人が、ソビエト連邦崩壊後に日本へ帰国されました。彼を支えたパートナーとの別離、戦争の不条理と人間愛を描いたドキュメンタリー映像を上映し、当時制作担当ディレクターだった河野さんからお話を伺います。

### 西中学校区同和教育研究協議会 人権講演会

日時：7月19日(金) 18:45～

場所：小鴨小学校 多目的ホール

内容：人権尊重社会のコミュニケーション

講師：尾崎 真理子さん

(公益社団法人鳥取県人権文化センター)

人権尊重のコミュニケーションを通じて、人権を尊重しているその瞬間を他者と分かち合い、積み上げていきませんか。

〔4つの基本姿勢〕

- 相手と自分是对等だと自覚する
- 相手に対する思い込みや偏見に注意する
- 自分と異なる感じ方や考え方を尊重する
- 自分の思いや感じ方を大切にする

※当日は、18時半より西中学校区同和教育研究協議会研究会を開催します。

※小鴨小学校への駐車は、現場スタッフの誘導に従ってください。

### 7月のあたごふれあいサロン



日時：7月19日(金) 13:30～

内容：木工教室「レターラック」づくり

参加費：1,200円程度

準備する物：金槌(準備できない方はご相談ください)

※参加される方は、7月5日(金)までに、

あたごふれあい人権文化センター(☎28-5440)まで

お申し込みください。